



# チーム玉幡



第19号  
R8年3月23日  
文責 堀内 貴司

## 6年生 卒業おめでとう！



3月19日（木）に、甲斐市防災危機管理監の酒井 厚志 様をはじめ、教育委員会、市議会議員、学校運営協議会委員、自治会長、主任児童委員、民生児童委員、PTA本会役員の来賓の方々や、卒業生の保護者、そして在校生代表の5年生の参加のもと「令和7年度卒業証書授与式」（卒業式）が行われました。当日の朝は雨模様でしたが、次第に天気は回復し、卒業生を祝福するかのようになんか青空が広がってきました。

卒業式は、6年生に小学校の教育課程をすべて修了した証である卒業証書を手渡す大切な学校行事であるとともに、6年間の成長の成果を発揮する最後の授業でもあります。この日のために、6年生は、練習に一生懸命取り組んできました。式の中での動きを練習したり、合唱や呼びかけの練習をしたり、そして、卒業制作に取り組んだりして、卒業に向けての気持ちをつくってきました。

そして、迎えた本番当日。堂々とした入場、ひな壇に座る凛々しい姿、担任の呼名に対して「はい」の返事、卒業証書を受け取った時の「ありがとうございます。」という言葉と輝いた目、とても立派な姿でした。後半の「卒業の詩」の場面では、6年間のたくさんの思い出と感謝の気持ち、そしてこれからの生活への決意を、呼びかけの言葉と合唱で表現し、厳粛な中にも、たくさんの感動とたくさんの温かさを感じることができた卒業式でした。

卒業式の式辞の中で、私からは「継続は力なり」「感謝の心をもつ」の2つの言葉を贈りました。4月から始まる中学校生活を一步一步、あせらず歩みを進めながら、大きく羽ばたいてくれることを願っています。

### 入場 6-1 6-2 担任の先導



担任から花をもらって退場



## 5年生も頑張りました



県の「いきいき教育地域人材活用推進事業」として、中学校の音楽講師として勤務経験のある小澤靖子さんに合唱指導を3回していただきました。

在校生代表として参加した5年生も頑張りました。どんな姿勢で卒業式に臨むのかを考え、感謝と祝福の気持ちを伝える呼びかけや合唱の練習を繰り返し行い、前日には、5年生が会場の清掃や会場づくりに活躍してくれました。6年生からバトンを引継ぎ、来年度は自分たちが玉幡小のリーダーとして頑張ろうと、改めて決意したことと思います。

## 6年生から感謝の気持ち

6年生が、下級生や学校に感謝の気持ちを表そうと、いろいろなことに取り組んでくれました。

下級生には、各クラスに「中休みに6年生と一緒にどんな遊びをしたいか？」のアンケートをとり、3月4日（水）～10日（火）に学年ごと日にちを設定し、交流しました。ドッジボールや鬼ごっこ等をして楽しく遊び、6年生も下級生も、最後の思い出ができました。

学校へは、3月11日（水）5校時に、これまで過ごした校舎の清掃や先生方のお手伝いをして、感謝の気持ちを表しました。先生方からリクエストがあった教室や廊下の掲示物はがしや廊下の床みがき等、精力的に作業をしてくれました。どうもありがとうございました。



## 令和7年度 修了！ 一年間ありがとうございました！

令和7年度の修了式が3月25日（水）に行われます。一年間の学校の授業日数は、6年生は190日、1・3年生は192日、2・4年生は194日、5年生は195日です。（授業日数の違いは、インフルエンザ等による学級・学年閉鎖などのため）

修了式では、私から学年代表の子どもたちに「修了証書」（あゆみのファイルの最後のページにあります。）を渡し、その後、代表の子どもが「一年間を振り返って」の発表をする予定です。「修了証書」には「小学校第〇学年の課程を修了したことを証します」と書かれています。つまり、「小学校〇年生で学ぶべきことをすべて学び、進級できます。」ということです。玉幡小の子どもたち全員、進級です。おめでとうございます。

今年度を終わるにあたり、子どもたちは、この一年間で多くの学習や様々な行事・体験を通して、大きく成長しました。子どもたちが頑張り、成果をあげることができましたのも、ひとえに保護者の皆さま・地域の皆さまのご協力・ご支援があったからです。改めて、感謝申し上げます。どうもありがとうございました。